

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H29 事業名	ふるさとアート工房事業	事業コード	375
------------	-------------	-------	-----

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	325
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進	

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	1990	終了年度	9999
	目的	一流の芸術家との触れ合いを通じて豊かな感性を育み、作品を作る楽しさ、面白さを体感し芸術文化への理解を深める。また、作品制作の題材として、市内の伝統芸能、祭りなど文化的要素を活用することにより、鯖江の文化の素晴らしさを改めて再認識する。				
	概要	洋画家西山松生先生の指導による絵画教室で、市内の各地区の祭りを題材に「西山松生絵楽塾」を開催。平成27年度より各地区の学校を巡回指導し、ふるさとのすばらしさや絵を描く楽しさを子どもたちに体感してもらう「西山松生アーツクルーズ」をふるさと学習の一環として同時期に開催する。				
	法令根拠					
実施形態	現在	市直営				
	内容	市が参加者を募集し、西山松生先生に講師を依頼して、無料で絵画教室を開催している。また、作品については、市美術展への出展を目標としている。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	絵楽塾、作品展示の開催回数		回	目標値	2	2	1	2	2
				実績値	2	2	1	2	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	絵楽塾、作品展示への受講者の参加者数		人	目標値	80	80	80	80	80
				実績値	102	95	93	77	
	計算根拠			達成率(%)	127.5	118.8	116.3	96.3	
				実数値					
		ランク		A	A	A	A		
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.2			
	事業タイプ	単独事業		事業要員	臨時・嘱託	0.01			
	経費区分	物件費		事業要員	※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業費	区分	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	補助金等名称		
	予算額	357	348	353	382	340			
	決算額	277	244	353	382				

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠		
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市民の間に広く参加者を募るために、無料で地元出身者の著名な絵画教室を実施するには、行政の関与が必要である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
	事業名				
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	講師の報償費や旅費、宿泊費等事業の実施に欠かせない経費である。	
【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="受益者負担"/>		根拠	受講者から参加料を徴収することは可能である。		
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>		根拠	絵楽塾の作品は、まなべの館等で展示したり、市美術展への出品を促し発表も場を設けていく。会場については、地域的なバランスに配慮し、市内の地域文化を広く市民に知っていただけるように努めていく。また、アーツクルーズでは、市内の各学校を巡回し、多くの子どもたちに芸術文化、ふるさとの素晴らしさを知ってもらえるように努めていく。		

ACTION	【平成29年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成30年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成29年度取組み	昨年同様の形態で実施。 平成29年度も地区のまつりをテーマに絵楽塾スケッチ大会を開催。また、同時期にふるさと学習の一環として学校を訪問し、子どもたちが自由に芸術文化を体験できる「西山松生アーツクルーズ」を開催する。	平成30年度計画	郷土出身で県内外で活躍する芸術家を招き、ふるさと学習の一環として市内の学校を訪問し、子どもたちが自由に芸術文化を体験できる「アーツクルーズ」等を開催する。

【H30提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="可能"/>					
年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H29 事業名	近松講座	事業コード	533
------------	------	-------	-----

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進

325

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	1996	終了年度	9999
	目的	近世の文豪近松門左衛門が鯖江で幼少期を過ごしたことにちなみ、その史実を市民に広く周知することにより、その歴史や人物像、作品に興味と理解を深めるとともに歴史資産を活用したまちづくりを推進する。				
	概要	「さばえ近松倶楽部」会員による近松入門講座の開催や外部講師による専門講座、近松ゆかりの地めぐりバスツアー等を開催する。				
	法令根拠					
実施形態	現在	市直営				
	内容	市が直接、講師を選定して、講座を開催している。近松入門講座については、さばえ近松倶楽部の会員や近松座の座員に講師をお願いして開催している。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	講座の開催回数		回	目標値	5	5	5	5	5
				実績値	14	11	14	7	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	講座の参加者数		人	目標値	900	900	900	900	900
				実績値	1,213	1,014	1,015	826	
	計算根拠			達成率(%)	134.8	112.7	112.8	91.8	
				実数値					
		ランク		A	A	A	B		
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.2			
	事業タイプ	単独事業		事業要員	臨時・嘱託	0.01			
	経費区分	物件費		事業要員	※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業費	区分	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	補助金等名称		
	予算額	667	687	631	640	544			
	決算額	667	602	574	640				

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	元禄の三大文豪の一人で偉大な浄瑠璃・歌舞伎作者 近松門左衛門が、鯖江市とゆかりがあるという史実を学んで、まちづくりにつなげていきたいと思う市民は多い。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	「近松のまちづくり」は、市の基本的な政策の一つである。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		根拠			
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
根拠					
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	必要最低限の経費で実施している。		
		根拠			
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	近松バスツアーは、負担金を徴収している。入門講座は、出前講座であり、他のイベントにあわせて開催するので負担金を徴収することは、困難である。		
有効性	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	まちづくり交付金を活用してつくられた施設等を活用して、近松の情に触れあうまち鯖江をPRするため、多角的な企画を立案し、来訪者を増やす必要がある。		
		根拠			

ACTION	【平成29年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成30年度 方向性】	<input type="text" value="統合"/>
	平成29年度取組み	昨年同様の形態で実施。 「さばえ近松倶楽部」の会員による近松入門講座、また、明治大学連携講座とコラボした専門講座、近松ゆかりの地への出張講座を実施する。	平成30年度計画	入門講座は市民役事業に、専門講座と出張講座は隔年とし、3080近松のまち鯖江創出事業と統合し、「近松が生まれたまちさばえ発信事業」として実施する。

【H30提案型市民主役オープン事業実施】

年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H29 事業名	文化財解説看板設置事業	事業コード
		571

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進

325

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	1997	終了年度	9999
	目的	文化財がもっている歴史的価値やいわれを解説することで、市内に点在する文化財に対する市民の理解を深め、その保存と活用を推進する。				
	概要	貴重な文化財を多くの市民に知ってもらい、保存等についての理解を深めるために、10ヵ年の設置計画を作成し、毎年、4件をめどに、解説看板を設置する。平成28年4月現在、指定・登録件数は192件（解説板設置済み69件、未設置123件）で、未設置のうち解説板必要件数は44件、不必要件数（無人の神社など防犯上好ましくない・管理者の承諾の得られない物件）は79件である。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営			
	内容	市で指定文化財や市内に存在する文化遺産等から設置対象を選択し、説明看板を設置する。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	指定文化財および文化遺産解説看板設置基数		基	目標値	4	4	2	2	2
				実績値	2	4	2	2	
	計算根拠			達成率(%)	50	100	100	100	
				実数値					
		ランク		C	A	A	A		
タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.25				
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	0				
	経費区分	普通建設事業費		※所要時間	0				
【単位:千円】									
事業費	区分	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	補助金等名称		
	予算額	1,176	1,176	630	630	630			
	決算額	532	1,176	630	630				

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	市内に存在する文化財を詳しく知りたいと思っている人は多い。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市民や観光客に、正しく文化財の解説を周知する必要があるので、行政が関与しなければならぬ。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ある"/>	所管課	各地区のまちづくり事業	【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text" value="不可能"/>
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	事業名		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text" value="不可能"/>
根拠			鯖江市教育委員会では、統一したデザインで看板を設置している。		
【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="補助金等の活用"/>		根拠	まちづくり交付金や市町振興プロジェクト事業補助金を活用する方法はある。(近松等の偉人関係に限定)		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠			

ACTION	【平成29年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成30年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成29年度取組み 市民からの設置要請も増えているので、引き続き2基を 設置する。	平成30年度計画 市民からの設置要望が定数あるので、引き続き2基設置 で実施していく。

【H30提案型市民主役オープン事業実施】

年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H29 事業名	鯖江市文化協議会事業補助金	事業コード 583
------------	---------------	--------------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策	325
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進	

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	文化振興に寄与する文化団体の育成を図る。地方文化の向上を図るため、伝統的文化、芸能、行事等の育成、ならびに継承保存に努め豊かな文化のふるさとづくりを図る。				
	概要	鯖江市文化協議会に対する補助金の交付。文化のふるさとづくりに要する経費。観月の夕べ、県文協選抜芸能祭・美術展、市文協芸能祭、市文協総合展・合同茶会。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	補助金等交付			
	内容					

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	構成団体の数		団体	目標値	35	35	35	35	35
				実績値	35	35	35	35	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	構成団体の構成員数		人	目標値	350	350	350	350	350
				実績値	352	352	359	350	
	計算根拠			達成率(%)	100.6	100.6	102.5	100	
				実数値					
			ランク	A	A	A	A		
タイプ	会計	一般会計		事業要員		正規職員			
	事業タイプ	単独事業				臨時・嘱託			
	経費区分	補助費等				※所要時間 16			
【単位:千円】									
事業費	区分	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	補助金等名称		
	予算額	2,150	2,150	2,150	2,150	2,150			
	決算額	2,150	2,150	2,150	2,150				

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	心のゆとりややすらぎを求める風潮から、市民の市民主体の文化芸術活動に対するニーズは十分にある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市民が主体となった文化振興の中心的団体である文化協議会への助成は、行政が行うべきである。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		根拠			
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
根拠					
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	補助金であるので、補助団体が事業を縮小しない限り困難である。		
		根拠	補助金であるので、今以上に財源を確保する方法はない。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	補助金であるので、所管課の指導は必要であるが、補助金を増額しても、基本的には、文化協議会自体の事業であり、成果の向上についても、協議会で考えることである。		

ACTION	【平成29年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成30年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成29年度取組み	鯖江市文化協議会に対して、市民が主体の文化振興事業を実施してもらうために補助金を交付する。総合展と美術協会展は、会期が近いので、統合できないか引き続き検討を行いたい。	平成30年度計画	鯖江市文化協議会に対して、市民が主体の文化振興事業を実施してもらうために補助金を交付する。平成30年度は福井県市町村文教選抜芸能祭開催場所となるため事業開催に係る補助金を交付する。

【H30提案型市民主役オープン事業実施】

年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H29 事業名	史跡兜山古墳環境整備事業	事業コード 606
------------	--------------	--------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	325
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進	

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	国指定文化財「史跡兜山古墳」の保存と活用をより効果的に行うために必要な環境整備事業を実施する。				
	概要	北陸最大の円墳である国指定文化財「史跡兜山」の用地買収を実施し、古墳公園化を目指す。				
	法令根拠	文化財保護法				
	実施形態	現在	市直営			
	内容	国庫補助事業（国宝重要文化財等保存整備費補助金）として市が史跡指定地を用地買収する。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	民有地公有化面積		㎡	目標値	510	1,244	0	1,885	0
				実績値	510	785	0	1,885	
	計算根拠	公有化は平成25年度以降で事業が開始される（平成24年度は事前の交渉や移転補償費の算定作業であるため、公有化面積としては数値は上がらない）			達成率(%)	100	63.1	-	100
				実数値					
		ランク		A	C	-	A		
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.01			
	事業タイプ	補助（国）事業		事業要員	臨時・嘱託				
	経費区分	普通建設事業費		事業要員	※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業費	区分	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	補助金等名称		
	予算額	37,096	41,341	0	29,070	7,053	国宝重要文化財等保存整備費補助金		
	決算額	37,096	40,002	0	29,070				

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	兜山古墳は、北陸地方最大級の円墳であり、国指定文化財でもあるので、その整備・保存・活用については、地元のみならず、十分に市民ニーズがある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	国庫補助事業として実施するため、事業は行政が実施しなければならない。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
			根拠		
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	整備内容を見直すことにより、コストを削減することは可能である。		
		根拠			
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	国や県の補助金を活用しており、今以上に財源を確保する方法はない。		
		根拠	早急に、地元と公有化の協議を整える必要がある。		

ACTION	【平成29年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成30年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成28年度取組み	平成28年度で公有化が完了したので、環境整備工事の内容を検討する段階へ移行する。具体的には、整備工事の基本的方針を検討した「整備基本計画」を策定する。	平成29年度計画	平成29年度で整備基本計画がまとまるので、平成30年度は次ぎのステップである「基本設計書」作成に移行する。

【H30提案型市民主役オープン事業実施】

年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H29 事業名	やんしき保存協会活動費補助金	事業コード 1945
------------	----------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	325
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進	

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	やんしき踊りの保存および普及活動を行い、鯖江の伝統芸能を守り、地域の連帯を深める。				
	概要	やんしき保存協会の活動費の補助				
	法令根拠					
	実施形態	現在	補助金等交付			
	内容	やんしき踊りの保存・継承事業に関する指導・助言				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	普及活動回数		回	目標値	20	20	20	20	40
				実績値	35	30	25	45	
	計算根拠			達成率(%)	175	150	125	225	
				実数値					
			ランク		A	A	A	A	
	タイプ	会計	一般会計		事業要員		正規職員	0.1	
		事業タイプ	単独事業				臨時・嘱託		
		経費区分	補助費等				※所要時間	0	
	【単位:千円】								
事業費	区分	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	補助金等名称		
	予算額	300	300	300	300	300			
	決算額	300	300	300	300				

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	鯖江の伝統芸能として、まつりに多く参加し普及活動を行っており、市民の踊り手が増加している。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	やんしきは鯖江の伝統芸能であり、保存・継承のための活動を行っている当協会を補助するのは妥当である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
			根拠	やんしき踊りは市の無形文化財に指定されたものであり、この普及・後継者育成活動は継続すべきである。	
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
	事業名				
		根拠			
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	活動回数が増加状況であるため、削減はむずかしい。		
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	市の単独事業なので、これ以上は望めない。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	普及活動を積極的に行い、やんしきの担い手を増加させることができる。		

ACTION	【平成29年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成30年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成29年度取組み 前年度までの事業を維持するとともに、後継者（踊り手・音頭とり）をさらに増やしていく。	平成30年度計画 後継者育成および技術向上は継続して実施していく必要があるため、例年並みの内容で実施する。

【H30提案型市民主役オープン事業実施】

年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H29 事業名	まなべDEわくわく !! アートフェスタ	事業コード	2078
------------	----------------------	-------	------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進

325

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2010	終了年度	9999
	目的	子どもたちが芸術文化に触れ合うことのできる総合的芸術文化活動をとおして、子どもたちに地域の伝統文化、歴史を伝え、郷土を愛する心や創造力豊かな人間性を育み、次世代の育成に努めるとともに市の文化振興を推進することを目的とする。				
	概要	鯖江市がこれまで築いてきた芸術文化、伝統芸能・工芸・産業、生活文化、歴史などの地域の資源や特性を活かした分野を中心に芸術文化を総合的に体験できる学びの場として開催する。また、登録博物館 まなべの館として文化芸術活動の拠点となるよう積極的に活用し、市民に親しまれ愛される施設を目指す。				
	法令根拠					
実施形態	現在	市直営				
	内容	市が参加者を募集し、講師は一部、各種市民団体等に依頼し開催している。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	体験教室の回数		日	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1	1	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	参加人数		人	目標値	350	350	350	370	370
				実績値	384	420	348	368	
	計算根拠			達成率(%)	109.7	120	99.4	99.5	
				実数値					
			ランク	A	A	A	A		
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.2			
	事業タイプ	単独事業		事業要員	臨時・嘱託	0.01			
	経費区分	物件費		事業要員	※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業費	区分	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	補助金等名称		
	予算額	555	647	600	703	658			
	決算額	459	611	453	460				

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	子どものころから文化芸術等に触れる機会を設けることにより、市の伝統文化、芸能、産業、歴史を継承していく人材を育成していかなければならないという機運は十分に ある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市の伝統文化等の継承のために、子どもたちを対象に芸術文化を総合的に体験できる事 業を開催し文化振興の面からも行政の関与が必要である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	事業名		
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	最小限のコストで実施している。	
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="受益者負担"/>	根拠	参加料を徴収することは可能であるが、子どもたちに気軽に芸術文化に接してもらうた めに、無料（材料費のみ一部負担）で開催することとする。	
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>		根拠	毎年、体験内容を検討し、保護者や子ども達のニーズにあった企画を立案する。また、 学校との連携を図る。		

ACTION	【平成29年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成30年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成29年度取組み	昨年同様の形態で実施。 5歳児から小・中学生親子を対象に、芸術、伝統文化、 芸能、産業、生活文化、歴史、自然科学等を幅広く体験 できる事業を開催し、子ども達の創造性、豊かな個性を 育み、これからの鯖江を担う次世代の育成に努める。 毎年、その年にあったテーマや素材など、参加する子 どもや保護者のニーズにあった体験プログラムを立案し実施 する。	平成30年度計画	昨年同様の形態で実施。 5歳児から小・中学生親子を対象に、毎年、参加する子 どもや保護者のニーズにあった体験プログラムを立案し、 芸術、伝統文化、芸能、産業、生活文化、歴史、自然科 学等を幅広く体験できる事業を開催する。

【H30提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="可能"/>					
年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H29 事業名	まちかど歴史浪漫コンサート	事業コード 2080
------------	---------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	244
		若者が住みたくなるまちの創造	ものづくり教育とふるさと学習の推進	市民との協働事業の推進	

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	文化財建造物を舞台としたイベントを開催することにより、文化財の保存と活用に関する理解を深めるとともに、まちづくりの貴重な素材としての理解につながる機会を提供する。				
	概要	文化財建造物の内外を舞台として会場を設営し、音楽等コンサートを行う。その際には、文化財等をライトアップし、市民が直接、目に触れる機会を提供する。提案型市民主役事業。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	民間等委託(全部)			
	内容	提案型市民主役事業として、プロポーザル形式で受託者を決定している。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	文化財建造物を舞台としたコンサート等の実施		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1	1	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	観客者数		人	目標値	200	200	200	200	150
				実績値	200	200	200	200	
	計算根拠			達成率(%)	100	100	100	100	
				実数値					
		ランク		A	A	A	A		
タイプ	会計	一般会計		正規職員		0.25			
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託					
	経費区分	物件費		※所要時間		0			
【単位:千円】									
事業費	区分	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	補助金等名称		
	予算額	1,230	1,230	1,230	1,195	1,180			
	決算額	1,230	1,230	1,230	1,195				

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	文化財に対する市民の関心は、年々高まっており、市民が文化財に直接に触れる機会の提供が必要である。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	文化財は、まちづくりの重要な素材であり、文化財の保存のほか、まちづくりの面からも行政の関与は必要である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
根拠					
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	多くの市民に参加してもらうような企画を立案しなければならないので、出演者・音響・照明の面からもコスト削減は困難である。		
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="その他"/>	根拠	地域と一体となつたまちづくりの観点から、地域のまちづくり団体等に、経費の一部を負担してもらう。	
		【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	開催回数を増やしたり、著名な出演者に依頼すれば、観客数は増えると思われるが、経費の面で問題がある。	

ACTION	【平成29年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成30年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成29年度取組み 文化財を活用した音楽イベントとして、評価が高いので、維持する。	平成30年度計画 文化財活用イベントとして参加者も多いため、平成29年度と同様の予算規模を確保する。

【H30提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="可能"/>					
年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	実施	実施

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H29 事業名	国登録文化財保存促進事業	事業コード 2309
------------	--------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	325
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進	

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2007	終了年度	9999
	目的	個性ある街並み景観の形成に寄与する文化財建造物の保存を確実なものとするために、調査を実施し、国登録有形文化財に登録することを目的とする。				
	概要	国登録文化財の修理事業に対する補助を行う。 補助率3/4、上限4,500千円(市1/2、県1/4、自己負担1/4) ※県の補助金は「福井の歴史的建造物保存促進事業補助金」				
	法令根拠	文化財保護法				
	実施形態	現在	市直営			
	内容	市が修理に対する補助金を交付する。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	国登録文化財への申請件数		件	目標値	1	1	4	1	0
				実績値	2	4	4	0	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	補助金交付件数		件	目標値	1	1	1	1	0
				実績値	2	-	-	-	
	計算根拠			達成率(%)	200	-	-	-	
				実数値					
				ランク	A	-	-	-	
	タイプ	会計	一般会計		事業要員		正規職員	0.1	
		事業タイプ	補助(県)事業				臨時・嘱託		
		経費区分	普通建設事業費				※所要時間	0	
	【単位:千円】								
事業費	区分	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	補助金等名称		
	予算額	8,895	0	0	1,190	0	福井の歴史的建造物保存促進事業		
	決算額	8,895	0	0	0				

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	古建築を修理して保存していきたいが、修理費が高くつくので、なかなかできないとの 多くの要望がある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	文化的景観や街並みの保存として、市が補助金を交付するので、行政が関与する必要が ある。	
	競争性	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	効率・効果	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	住宅として使用されている建物を文化財として保存していくためには必要な事業である	
			所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	補助金としての性格上、コスト削減の余地はない。		
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	県の補助金を活用している。(1/4)	
			【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	補助率や限度額のアップが考えられるが、市内には、多くの国登録文化財候補が存在す ると思われ、財政的に困難である。

ACTION	【平成29年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成30年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成29年度取組み 平成29年度においても、登録文化財への登録を希望する 案件があるので、維持する。	平成30年度計画 今後も登録文化財への登録を希望する所有者が現れる可 能性があるので維持とする。

【H30提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="text" value="不可能"/>						
年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H29 事業名	今北山・磯部・弁財天古墳群調査事業	事業コード 2427
------------	-------------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進

325

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2008	終了年度	2017
	目的	国指定文化財の上位指定を受けるために、地形測量・発掘調査を実施し、その概要を明らかにする。				
	概要	市指定文化財である「今北山・磯部・弁財天古墳群」について、国指定史跡への上位指定を目指し、遺跡の内容把握のための調査（10ヵ年計画H20～H29年度）を実施する。				
	法令根拠	文化財保護法				
	実施形態	現在	市直営			
	内容	発掘調査担当職員が、発掘作業員の雇用、作業の指導を行い、発掘調査に必要な各種契約事務を行っている。				

DO(実施)	活動指標									
		指標名	単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	
		※設定困難		目標値						
				実績値						
		成果指標								
			指標名	単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
			事業全体進捗率（発掘面積・地形測量・地元説明会の開催、調査報告書の刊行）	%	目標値	60	70	90	95	100
					実績値	60	70	90	95	
		計算根拠	平成29年度末が事業の最終年度であることから、平成29年度段階の全体進捗率を100とした。	達成率(%)	100	100	100	100		
					実数値					
			ランク	A	A	A	A			
	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.5				
	事業タイプ	補助(国)事業		事業要員	臨時・嘱託	0.5				
	経費区分	物件費		事業要員	※所要時間	0				
					【単位:千円】					
	区分	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	補助金等名称			
	予算額	8,260	7,650	7,471	6,300	30,000	国宝重要文化財等保存整備費補助金			
	決算額	8,260	7,650	7,471	6,300					

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	今北山・磯部・弁財天古墳群は、丹南地方最大の前方後円墳を有しており、その歴史的価値は高い。今後は、国指定の上位指定を目指し、市の宝として保存・活用する方策を検討していく必要がある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市指定文化財であり、調査・整備には、行政が関与する必要がある。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
			根拠		
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	国の上位指定に向けて、必要事業を行っている。		
		根拠			
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	国の補助対象事業として実施している。		
		根拠			
有効性	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	国の上位指定に向けて必要な事業を行っている。		
		根拠			

ACTION	【平成29年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成30年度 方向性】	<input type="text" value="終了"/>
	平成29年度取組み	文化財の国指定にむけて文化庁と協議し、これ以上の発掘調査について不要と指導されれば、29年度をもって終了する。この場合、発掘調査出土品整理および総括報告書刊行に関連する作業を予定。		平成30年度計画 発掘調査および報告書刊行は平成29年度で終了する。

【H30提案型市民主役オープン事業実施】

年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H29 事業名	ふるさと鯖江検定事業	事業コード	2549
------------	------------	-------	------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進

325

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2008	終了年度	9999
	目的	ふるさと鯖江に関する歴史・地理・文化・産業・経済などに関する検定を実施し、ふるさとへの理解を高める一助とする。				
	概要	「ふるさとさばえ」を広く知ってもらうため、鯖江の歴史や文化をテーマに4者択一で100問出題する検定を年1回実施する。合格者には、「石田縞」特製の認定証を贈呈する。また、合格者については、市の文化事業の解説等に協力していただけるような方策を検討する。大人の検定にあわせて、子どものころからふるさとの歴史に親しめるようキッズ検定を実施する(平成27年度より)。				
	法令 根拠					
	実施 形態	現在	市直営			
	内容	市職員が問題を作成する。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	検定の実施		回	目標値	1	1	1	2	2
				実績値	1	1	1	2	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	受験者数(申込者数)		人	目標値	100	70	120	150	150
				実績値	72	63	72	265	
	計算 根拠			達成率 (%)	72	90	60	176.7	
				実数値					
		ランク		C	B	C	A		
タイプ	会計	一般会計		事業要員		正規職員	0.2		
	事業タイプ	単独事業		事業要員		臨時・嘱託	0.01		
	経費区分	物件費		事業要員		※所要時間	0		
【単位:千円】									
事業費	区分	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	補助金等名称		
	予算額	192	435	450	582	248			
	決算額	192	222	215	132				

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	ご当地検定ブームもあり、ふるさと鯖江について学び、その成果を試してみたいとの市民ニーズは十分にある。		
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で ですか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	史実に沿った正確な問題を作成し、検定を通して、ふるさと鯖江の歴史や文化について正しい知識を身につけてもらう。また、その知識の活用を図るためには、行政の関与が必要である。		
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ある"/>	主体	県	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text" value="不可能"/>	
			事業名	考福学検定		
			根拠	鯖江市だけに関わる問題を作成し、検定を実施する必要がある。		
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>	
	事業名					
		根拠				
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	認定書の単価を下げる。			
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="受益者負担"/>	根拠	検定料を徴収する。			
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	広報活動を積極的に行う。			

ACTION	【平成29年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成30年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成29年度取組み	昨年同様の形態で実施。「ふるさとさばえ」について広く知ってもらうため、鯖江の歴史や文化をテーマに出題する。大人対象には従来どおりに実施し、キッズ検定については学校の協力を得て開催する。	平成30年度計画	昨年同様の形態で実施。「ふるさとさばえ」について広く知ってもらうため、鯖江の歴史や文化をテーマに検定を行う。キッズ検定については学校の協力を得て実施し、一般は従来どおりの形で開催する。

【H30提案型市民主役オープン事業実施】

年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H29 事業名	鯖江市美術展開催事業	事業コード 2556
------------	------------	---------------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策	325
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進	

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2008	終了年度	9999
	目的	本市の美術文化の向上を図り、市民に親しまれる美術の祭典となることを目的とする。				
	概要	日本画・水墨画・絵画・造形・彫刻・立体・書道・工芸・写真・デザインの7部門に分けて、作品を募集し、審査の結果、入賞・入選作品を展示し、表彰を行う。会場は、まなべの館、禰陽会館の2会場。会期は5日間。運営にあたっては、アートスタッフボランティアを募集する。会期中、アートワークショップを開催し、意見交換の場を設ける。また、子どもから大人まで気軽に美術に親しんでもらうために「気軽にアート展」も同時開催する。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営			
	内容	市民が主体となった実行委員会で実施する。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	作品の応募点数		点	目標値	500	500	500	500	450
				実績値	450	450	412	413	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	会場への来場者数		人	目標値	15,000	15,000	10,000	10,000	7,000
				実績値	13,513	10,088	8,415	6,760	
	計算根拠	市民の文化意識の向上を会場への来場者数で判断する。※H24から開催期間が10日間から5日間に変更。※H27から開催日を11月に、会場を2会場に変更。			達成率(%)	90.1	67.3	84.2	67.6
				実数値					
			ランク	B	C	B	C		
タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.5				
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	0.1				
	経費区分	物件費		※所要時間	0				
【単位:千円】									
事業費	区分	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	補助金等名称		
	予算額	2,362	2,000	2,285	2,408	2,280			
	決算額	2,071	1,677	2,267	2,079				

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	余暇を利用して、美術作品を制作したり、その作品を出展したいとの市民ニーズは高い。		
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市全体の美術文化の向上を図ることが目的であるので、行政の関与は必要である。		
	競争性	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ある"/>	主体	県	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text" value="不可能"/>	
		事業名	県美展	根拠		市美展は、市民の美術の祭典であり、広く、気軽に作品を募集するので、県美展との統 合は不可能である。
	効率・効果	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>	
		事業名		根拠		
		【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	報償費の占める割合が高いので、コストを削減する余地はない。		
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="受益者負担"/>	根拠	出品料の増額が考えられるが、幅広く募集するとの趣旨からすると困難である。			
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	将来的には会場を一つにするなど、市民のニーズにあった公募展になるよう検討する。			

ACTION	【平成29年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成30年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成29年度取組み	昨年同様の形態で実施するが、今回は第10回目という記念の公募展になるため記念行事も組み入れて開催。「本展」では市民の意見をもとに市民の美術の祭典としてふさわしいように市民に親しまれる美術展を開催する。引き続き、デザイン部門にイラスト・漫画作品も出品可能とし学生などの若手の出品者が増えるように広報にも力を入れて取り組む。また、「気軽にあーと展」では学校と協力を得て実施する。	平成30年度計画	昨年同様の形態で実施。実行委員を中心に市民の意見を取り入れ、市民の美術の祭典としてふさわしく市民に親しまれる美術展を開催する。引き続き、連携大学、市内の高校に協力を依頼し、学生などの若手の出品者が増えるように広報にも力を入れて取り組む。また、「気軽にあーと展」では学校と協力を得て実施する。

【H30提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="可能"/>					
年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H29 事業名	まなべ学講座	事業コード	2630
------------	--------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進

325

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2010	終了年度	9999
	目的	鯖江藩主「間部」にちなみ、鯖江のことをいろいろな角度で学び、郷土に興味と誇りを持ってもらう。				
	概要	リニューアルされた「まなべの館」において、鯖江藩主間部家の名称にちなみ、「まなべ学」と題し、ふるさと鯖江に関する歴史・芸術・産業・自然等のさまざまな分野を代表する講師を招き、市民講座を開催する。提案型市民主役事業				
	法令根拠					
	実施形態	現在	民間等委託(全部)			
	内容	講師の選定や会場借上げ等、すべての事務を委託して講座を開催している。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	講座開催数		回	目標値	4	4	4	4	3
				実績値	6	4	4	3	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	参加者数		人	目標値	200	200	200	200	200
				実績値	250	200	200	162	
	計算根拠			達成率(%)	125	100	100	81	
				実数値					
		ランク		A	A	A	B		
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.2			
	事業タイプ	単独事業		事業要員	臨時・嘱託	0.2			
	経費区分	物件費		事業要員	※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業費	区分	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	補助金等名称		
	予算額	656	656	656	656	470			
	決算額	656	656	656	656				

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	鯖江の基礎となった鯖江藩の歴史に対する関心度は高い。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	歴史に対する正確な認識、正確な情報を住民に提供することは、行政が実施すべき事業である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ある"/>	事業名	鯖江公民館	【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text" value="可能"/>
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	所管課	鯖江公民館	事業名	
	有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="受益者負担"/>	根拠	講師を県外から招聘するのではなく、県内の方をお願いする。	
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>		根拠	鯖江地区のまちづくり団体と協働して事業を実施する。		

ACTION	【平成29年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成30年度 方向性】 <input type="text" value="統合"/>
	平成29年度取組み テーマを、歴史にとらわれず自然や政治・経済という分野にも広げて実施する。	平成30年度計画 3081 明治大学連携講座と統合し「市民学講座」として実施。 「まなべ学」講座は提案型市民主役事業として、「明治大学連携講座」は明治大学社会連携事務室と委託連携し、市民に対して、歴史・芸術文化を中心にした講座を開催する。

【H30提案型市民主役オープン事業実施】

年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	実施	実施

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H29 事業名	近松のまち鯖江創出事業	事業コード	3080
------------	-------------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	325
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進	

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	平成23年度で、まちづくり交付金事業が終了したが、その中で、継続性が必要なものについて予算付けし、さらなる「近松のまちさばえ」を情報発信する。				
	概要	<ul style="list-style-type: none"> 鯖江人形浄瑠璃「近松座」によるPR出前公演を委託する。 「立待月観月の夕べ」開催を委託する。 				
	法令根拠					
	実施形態	現在	民間等委託（一部）			
	内容	PR公演は、鯖江人形浄瑠璃「近松座」に委託、「立待月観月の夕べ」は、近松の里づくり事業推進会議に委託して開催する。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名	単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	
	近松座による出前公演の回数	回	目標値	8	8	8	8	8	
			実績値	8	8	27	15		
	成果指標								
	指標名	単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	
	たちまち近松まつり・立待月観月の夕べの観客数	人	目標値	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	
			実績値	10,000	10,000	10,000	10,000		
	計算根拠	「近松のまちさばえ」が浸透しているかどうかをイベントの観客数で判断する。		達成率(%)	117.6	117.6	117.6	117.6	
				実数値					
	ランク		A	A	A	A			
タイプ	会計	一般会計							
	事業タイプ	単独事業							
	経費区分	物件費							
	事業要員	正規職員	0.1						
		臨時・嘱託	0.1						
		※所要時間	0						
	【単位:千円】								
事業費	区分	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	補助金等名称		
	予算額	2,000	1,700	1,700	1,700	1,700			
	決算額	1,723	1,700	1,700	1,700				

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	ブランド力の高い近松門左衛門を情報発信して、「鯖江の近松」としてまちづくりを推進していくニーズがある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市が一体となって近松のまちづくりを推進していく必要がある。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
			根拠		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
			根拠		
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	必要最小限の額で実施している。	
			根拠		
根拠					
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="その他"/>	根拠	財団等の助成金を活用する。		
		根拠	限られた財団等の助成金を活用した事業実施のため困難。		
有効性	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠			
		根拠			

ACTION	【平成29年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成30年度 方向性】	<input type="text" value="統合"/>
	平成29年度取組み	昨年同様の形態で実施。 鯖江人形浄瑠璃「近松座」によるPR公演委託、立待月 観月の夕べ」開催委託を柱として、さらなる近松のまち を全国発信する。	平成30年度計画	5.3.3「近松講座」と統合し、「近松が生まれたまちさば え発信事業」として実施する。 提案型市民主役事業として「近松講座」、鯖江人形浄瑠璃 「近松座」による文楽公演委託事業、近松のまちづくり推 進活動事業（近松の里づくり推進会議）開催委託を行 い、近松のまち鯖江を全国発信する。

【H30提案型市民主役オープン事業実施】

年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H29 事業名	明治大学連携講座	事業コード 3081
------------	----------	---------------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進

325

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	平成23年11月24日に締結した「鯖江市・明治大学連携協定」に基づき、明治大学の知的資産・人材を鯖江市の文化・学術の研究・交流に活用する。				
	概要	講演会の開催 ※明治大学事務局と調整し、今後、文化全般について、それぞれ専門の研究者に講演を依頼する予定。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	民間等委託（全部）			
	内容	明治大学社会連携事務室に委託し、講演会を開催する。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	講演会開催数		回	目標値	2	2	2	2	1
				実績値	2	2	2	2	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	講演会参加者数		人	目標値	60	60	60	60	30
				実績値	203	84	85	70	
	計算根拠	講演会参加者数 30名/回		達成率(%)	338.3	140	141.7	116.7	
				実数値					
			ランク	A	A	A	A		
タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.08				
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	0.08				
	経費区分	物件費		※所要時間	0				
【単位:千円】									
事業費	区分	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	補助金等名称		
	予算額	300	300	300	300	150			
	決算額	300	300	300	300				

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	明治大学と連携することにより、普通では依頼できない研究者の講演等を開催できることを考えるとニーズは十分ある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	明治大学連携事業については、市が明治大学と協定を締結しているものであり、また、大学側と調整を取りながら事業を行わなければならないことから行政が実施すべきである。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		根拠			
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
根拠					
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	契約や教授陣との摺り合わせといった基本的事務や遺跡の事前視察・研究をおこなう必要性があるため大幅な削減は困難と考えられる。		
		根拠	市が明治大学と協定を締結している特定の事業であり、財源を広く確保することは困難と考えられる。		
	根拠	予算次第であるが、講座の回数を増やせば集客効果は高くなるものと考えられる。また、市民のニーズをリサーチし、最も有効なテーマで講演できるよう大学と調整していくとともに、情報発信に努めることが重要である。			

ACTION	【平成29年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成30年度 方向性】	<input type="text" value="統合"/>
	平成29年度取組み	昨年同様の形態で実施。今年度に引き続き、テーマを文化全般について広め、大学のそれぞれの専門の研究者に講演を依頼し、文化振興に努める。	平成30年度計画	2630まなべ学講座と統合し「市民学講座」として実施。「まなべ学」講座は提案型市民主役事業として、「明治大学連携講座」は明治大学社会連携事務室と委託連携し、市民に対して、歴史・芸術文化を中心にした講座を開催する。

【H30提案型市民主役オープン事業実施】

年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H29 事業名	市内文化財悉皆調査事業	事業コード	3082
------------	-------------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	325
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進	

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	指定文化財を増やし、郷土に誇りを持つ人材の育成を図るために、指定文化財候補となるべき物件の悉皆調査を実施する。 ※平成19～21年度に実施した建造物調査事業（福井工大委託）も同趣の事業である。				
	概要	鯖江市まなべの館に所蔵されている未整理状態の近世史料8,000点を中心に、諸家所有史料、区有史料などの古文書について、基本的な情報を得るための調査を実施していく。				
	法令根拠					
実施形態	現在	市直営				
	内容	市職員（学芸員）が直接市内各地の文化財を訪問し、調査を行う。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	悉皆調査の回数		回	目標値	10	10	10	10	8
				実績値	20	10	10	10	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	調査した文化財の数		件	目標値	50	50	50	50	40
				実績値	50	50	60	50	
	計算根拠			達成率(%)	100	100	120	100	
				実数値					
		ランク		A	A	A	A		
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.17			
	事業タイプ	単独事業		事業要員	臨時・嘱託	0.67			
	経費区分	物件費		事業要員	※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業費	区分	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	補助金等名称		
	予算額	300	50	50	60	50			
	決算額	300	50	50	50				

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	指定文化財の候補物件の特定を行うという性格の事業であり、市長の指定文化財を増やすというマニフェスト実現の一翼を担うものであるため、ニーズはあるものと判断される。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	悉皆調査は学芸員が直接訪問し実施するものであり、専門的な知識・技術をもつものは市内では学芸員のみである。よって行政が実施すべきである。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
			根拠	指定文化財を増やすという施策を推進するためには、この事業は必要である	
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		事業名			
			根拠		
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	専門研究者への謝礼、写真撮影委託等がほとんどであり、その他は市職員の業務として実施している。		
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	市町村内における文化財の悉皆調査についての補助メニューは知られていない。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	担当する職員数を増やせば調査期間が短縮できるので、その成果を短期間のうちに市民に公開できる。		

ACTION	【平成29年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成30年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成29年度取組み	鯖江市文化財調査委員会の答申に基づき、特定のテーマで文化財指定を目的とした調査を実施していく。	平成30年度計画	文化財指定のために必要な調査として継続する。平成30年度は平等会寺所蔵の経典類(2,000冊)を調査する予定である。

【H30提案型市民主役オープン事業実施】

年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H29 事業名	古文書調査事業	事業コード
		3314

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	325
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進	

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2015	終了年度	2019
	目的	未整理の古文書類を調査・整理することで、貴重な新史料の発見が期待され、指定文化財の増加や特別展示の企画に関する材料として活用が期待される。				
	概要	鯖江市まなべの館に収蔵されている未整理の古文書資料の調査・整理を実施する。				
	法令根拠					
実施形態	現在	民間等委託(全部)				
	内容	市職員が保管資料を整理し、5ヶ年計画で、近世史料を専門とする大学研究室に委託する。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	古文書の搬入点数			目標値			945	1,800	1,000
				実績値			945	1,800	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	古文書の調書作成点数		点	目標値			945	1,800	1,000
				実績値			945	1,800	
	計算根拠			達成率(%)			100	100	
				実数値					
				ランク			A	A	
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.1			
	事業タイプ	単独事業			臨時・嘱託				
	経費区分	物件費			※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業費	区分	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	補助金等名称		
	予算額			355	300	320			
	決算額			355	300				

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	未整理の古文書の概要把握を行う事業であり、市長の指定文化財を増やすというマニフェスト実現の一翼を担うものであるため、ニーズはあるものと判断される。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	古文書調査は学芸員が直接訪問し実施するものであり、専門的な知識・技術をもつものは市内では学芸員のみである。よって行政が実施すべきである。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		根拠			
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
事業名					
根拠					
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠			
		根拠			
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠			
有効性	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠			
		根拠			

ACTION	【平成29年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成30年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成29年度取組み	平成27～31年度の5ヶ年計画の3年目に当たり、まだ整理すべき古文書が多数あるため、継続事業とする。	平成30年度計画	平成30年度は当初計画の4年目に当たるが、これまでに全体の約1/2が終了した状況であるので、継続して実施する。

【H30提案型市民主役オープン事業実施】

年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H29 事業名	まなべの館企画展開催事業 平成29年度企画展「澤田教一展」・「越前戦国演義」	事業コード 3399
------------	---	---------------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策	325
		若くて元気のまちの創造	学力・体力日本一のまち	文化活動の推進	

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2016	終了年度	9999
	目的	博物館活動の中核を担う企画展開催事業を通して、教育・学術向上への寄与を図るだけでなく、本市の芸術文化・歴史等のさらなる向上を図ることを目的とする。また、登録博物館としてのまなべの館の活用を積極的に図り、安定した事業運営を確保する。				
	概要	歴史、芸術、民俗、産業、自然科学および現代社会が抱える問題など、まなべの館展覧会開催方針に伴ったテーマのもと企画展開催事業を実施する。平成29年度事業は次のとおり。 ①「澤田教一展」 会期7/29～9/3 【観覧料】無料 ②「越前戦国演義」 会期9/30～11/12 【観覧料】大人@100円、小人@50円 ③クリヨウジアートドキュメント				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営			
	内容	市職員(学芸員)が企画し、資料所有者との交渉や展示パネルの原稿作成も行なう。				

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	展示解説会・関連イベントの開催数		回	目標値				5	6
				実績値				5	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
	入館者数		人	目標値				1,000	5,000
				実績値				1,000	
	計算根拠			達成率(%)				100	
				実数値					
		ランク					A		
タイプ	会計	一般会計		事業要員		正規職員	0.2		
	事業タイプ	単独事業		事業要員		臨時・嘱託	0.1		
	経費区分	物件費		事業要員		※所要時間	0		
【単位:千円】									
事業費	区分	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	補助金等名称		
	予算額				2,000	5,000			
	決算額				2,000				

平成29年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text"/>	根拠		
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text"/>	根拠		
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		根拠			
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		根拠			
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text"/>	根拠		
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text"/>	根拠		
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text"/>		根拠			

ACTION	【平成29年度 取組み】	維持	【平成30年度 方向性】	維持
	平成29年度取組み	平成29年度からは、国交省の都市再生整備計画事業費を財源として5ヶ年（H29～33年度）事業で実施することとなり、引き続き、博物館・美術館に若い世代や子どもたちが多数足を運べるような企画内容を展開していく。	平成30年度計画	国交省の都市再生整備計画事業費を財源として5ヶ年（～H33年度）事業で実施する。博物館・美術館に若い世代や子どもたちが多数足を運べるような企画内容の事業を展開していく。

【H30提案型市民主役オープン事業実施】

年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施